

教育委員意見交換会

日時 令和5年6月30日(金) 午前10時15分～午後0時10分

場所 堺市役所 高層館10階 教育委員室

出席者 粟井明彦教育長、河盛幹雄委員、宮本功委員、鈴木真由子委員、新谷奈津子委員、長田翼委員
(事務局)山嵯久樹教育次長

伊藤修士教委総務部長

富岡重幸学校教育部長 永木里恵学校教育部部理事

高橋康浩学校保健体育課長 川端一生生徒指導課長

橋本宏司教育政策課長 森本恭明教育政策課長補佐 楠本奈央子教育政策課企画係長

案件

- ・部活動地域連携・地域移行の予定について
- ・条例改正後の堺市いじめ防止等対策推進委員会の動きについて
- ・令和5年度第1回総合教育会議について
- ・その他非公開案件1件あり

・部活動地域連携・地域移行の予定について

本市における部活動地域連携・地域移行の方向性は、「子どもを中心とする」視点を大切に、部活動と同様に地域におけるスポーツ・文化芸術活動の経験を通して子どもたちの資質・能力を育成することを目的とすることを説明。今後は国のガイドラインの趣旨を踏まえ、部活動に代わる活動の受け皿や顧問に代わる指導者を、まずは休日から整備すること、令和5年度モデル事業の実施内容等について説明。

(主な意見)

・吹奏楽部などの文化部でもモデル事業を実施しないのか。また、こども会活動など地域の社会教育活動を活用すれば、地域連携が活発になるのではないかと。

⇒休日に活動している部活動は運動部が多いため、モデル事業の対象も運動部が多くなっている。今回のモデル事業の一つは、休日の運動部を学校施設開故事業の団体に登録し、社会教育の位置づけとして実施・展開するもの。将来的には、中学生だけではなく、幅広く保護者や地域の方が参画する社会教育の一つとしての部活動の形を研究したいと考えている。

・学校施設開故事業団体を活用する仕組みは、総合型地域スポーツクラブと同じものを並行して作るようになるのではないかと。総合型地域スポーツクラブの拡充も必要ではないかと。

⇒総合型地域スポーツクラブの立ち上げや育成は、市長事務局の所管課であるスポーツ推進課が中心となって取り組んでいるが、受け皿となる団体の一つとして教育委員会も関係部署として連携している。今後、部活動は地域連携・地域移行が進む事で、総合型地域スポーツクラブのようなものに近づくと考えるが、現時点で可能な地域連携・地域移行のモデル事業に着手するというもの。

・部活動の地域連携・地域移行における全体の方向性を示してほしい。短期・中期・長期・最終ゴールの全体像を示したうえで、今回のモデル実施による検証を行い、その結果の反映、修正等を行いながら地域連携・地域移行できるよう進めてほしい。

⇒全体の方向性等は、改めて報告する。

・堺市の部活動に関する現状はどのようになっているのか。現状、活動している部活動の種類や、教員の

指導能力、学校への配置状況などを把握しないまま、部活動地域連携・地域移行の議論はできない。

⇒部活動の現状は、改めて報告する。

・教員の働き方改革への効果も把握できるように、教員の部活動への従事時間（休日を含む）の推移などを把握してほしい。

・条例改正後の堺市いじめ防止等対策推進委員会の動きについて

本市におけるいじめの未然防止及び早期発見に資する取組の充実を図るため、その所掌事務等について見直しを行った堺市いじめ防止等対策推進委員会の今年度の動きについて説明。

(主な意見)

・特になし

・令和5年度第1回総合教育会議について

令和5年度第1回総合教育会議について、概要等を説明。